

授業概要

主に文法的な側面から日本語の基本的なルール、運用方法を学ぶ授業である。実際に受講者自身が授業内で書き、考える演習形式で行うことが多くなるので、休まずに出席し、課題をクリアしていくことが必要になる。文学作品を例にしながら古典文法も学ぶが、そのことによりよく知られた古典作品を読み、鑑賞できるように講義する。

授業計画

第1回	ガイダンス
第2回	文・文節・単語・品詞
第3回	文節相互の関係
第4回	文の成分と文の組み立て
第5回	名詞
第6回	副詞・連体詞
第7回	動詞①
第8回	動詞②
第9回	形容詞・形容動詞
第10回	助動詞
第11回	助詞
第12回	文語文 助動詞①
第13回	文語文 助動詞②
第14回	文語文 敬語
第15回	まとめ
第16回	定期試験

到達目標

- ① 古典文法を含めた日本語の文法についての基本的な知識を得る。
- ② 文法的側面から日本語やそれを用いた文章表現などについて関心を持つ。

履修上の注意

毎回小テストを行う。一つ一つの段階をクリアしないと次には進めない。したがって欠席するとその分だけ遅れ、単位の取得ができなくなる。欠席しないこと。

予習・復習

予習 前回授業を振り返り小テストの準備をする。
復習 毎回の授業内容をまとめ、理解の定着を図る。

評価方法

授業内の課題を 50%、期末試験を 50%として評価する。

テキスト

プリントを使用する。